

## 目標達成計画

作成日: 平成 30 年 1 月 2 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2・3	設立当初から、地域の一員としての交流を心掛けてきた。介護福祉士をはじめ、栄養士等専門職を活かして何か地域に還元できないかとの思いがあるも実現に至っていない。	専門職としての知識や技術の伝達、またホームを開放して、より広く地域との交流をめざす	・愛育委員や町内の役員等を介して、認知症についてとか高齢者の栄養等専門職をいかしての勉強会のようなものを開催する。子供会の役員等を介して餅つき大会等を行う	12ヶ月
2	18	介護職員が、不足している中で少しでも時間を見つけ、関わろうとする姿勢は見受けられるが、日々の生活の中でまだまだ一方的な介護になっているのではないかな	人生の先輩として、出来る事をお互いが、把握しながら入居者・職員共にお互いが、楽しく過ごせるよう模索する	・日々の生活の中で行事を増やす。時間の使い方を再考し日々の生活の中で楽しみや新しい企画を考える	12ヶ月
3	14	同業者との交流は継続して出来ているが、情報の共有にとどまらず、新たな展開につなげる	グループホーム間で症例発表等を行う事で新たな問題点や新しい気づき今後の方向性を見つけ、職員のやりがいにつなげる	・症例発表が実現できるよう、定期交流会で議題にだしてみる	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。